

品川区環境基本計画中間見直し 骨子案について

災害・環境対策特別委員会資料
令和4年8月24日
都市環境部環境課

1 現行計画及び見直しの経緯

区では、平成 30（2018）年度に「品川区環境基本計画（計画期間：平成 30（2018）年度～平成 39（2027）年度）」を策定しました（以下、「現行計画」といいます。）。

本年度、現行計画の中間年を迎えるにあたり、最新の環境課題を踏まえた実効性のある見直しを行います。

2 進捗状況

品川区の削減実績（2019 年度）：二酸化炭素-17.2%削減／温室効果ガス-12.4%削減（2013 年度比）

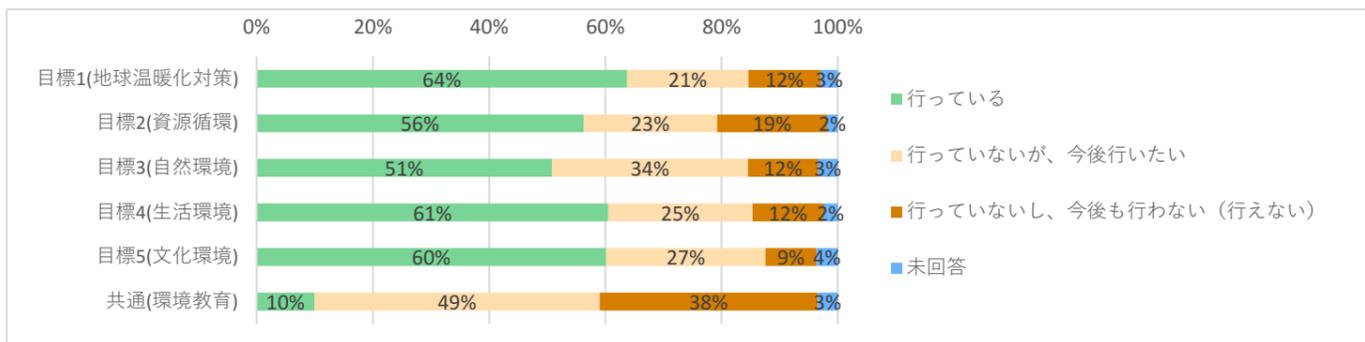
3 見直しに関するご意見

①環境活動推進会議の意見（アンケート形式による） 配布数：35 / 回答数：22 / 回答率：62.8%

基本目標等	重要と考える項目 (A)		“A”の中で特に重点的に取り組むべき3項目 (B)		主な項目 ※下線は“B”で挙げられた項目
	意見数	割合	意見数	割合	
目標 1(地球温暖化対策)	167	55.9%	22	33.3%	EV、ZEB、 <u>カーボンニュートラル</u> 、 <u>水素発電</u> 、 <u>プラ削減</u>
目標 2(資源循環)	56	18.7%	17	25.8%	3R、 <u>ごみ削減</u> 、 <u>サーキュラーエコノミー</u> 、 <u>プラ削減</u>
目標 3(自然環境)	29	9.7%	7	10.6%	都市農園、 <u>グリーンカーテン</u> 、希少生物
目標 4(生活環境)	3	1.0%	3	4.5%	鳥獣被害、有害物質
目標 5(文化環境)	5	1.7%	1	1.5%	歴史、景観
共通(環境教育・環境コミュニケーション)	15	5.0%	12	18.2%	<u>環境学習</u> 、 <u>環境情報発信</u> 、 <u>ITイベント</u>
その他	24	8.0%	4	6.1%	<u>ソーシャルグット</u> 、 <u>アート活用</u> 、 <u>ワシントン条約</u> 、 <u>グリーンウォッシュ</u>
計	299	100%	66	100%	

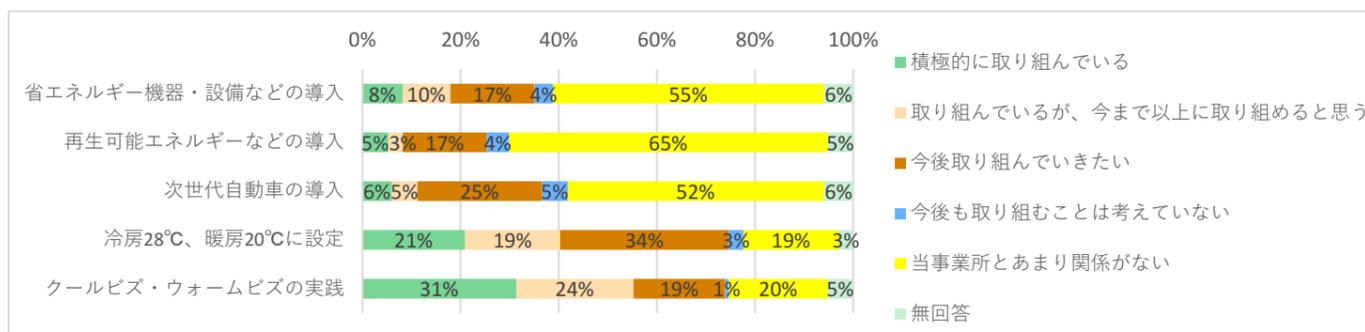
②区民・事業者アンケート 回答率：区民 1,500 名 36.6%/事業者 500 社 26.6%/CSR 企業 89 社 23.6%

(1) 区民アンケート回答（一部抜粋）＜Q. 日頃行っている、または関心がある取組について教えてください。＞



→「環境教育・環境コミュニケーション」を普及・拡大していく余地が大きいことが分かる。

(2) 事業者アンケート回答（一部抜粋）＜Q. 貴事業所の脱炭素への取組状況について、教えてください。＞



→室温設定や服装による省エネへの取組は一定の浸透はみられる。ハード面による省エネ等は進めるにあたって工夫が必要。

③各計画との調整

関係各課にヒアリング調査を実施している。

4 見直しのポイント

①2030 年に向けた削減目標値を 50%（二酸化炭素）とする ※基準年に変更なし

②「①」に対応する取組

③その他の追加・修正

5 追加・修正する取組

基本目標等	施策（追加・修正する取組）
基本目標 1 「低炭素な暮らし・仕事・まち」を実現する（地球温暖化対策） ↓ 「脱炭素社会」を実現する（地球温暖化対策）	<ul style="list-style-type: none"> • Z E B、Z E H等の促進 • 家庭部門、業務部門、自動車部門における脱炭素化 • 再生可能エネルギー、水素エネルギーの普及拡大 • 建築物における脱炭素化、エネルギーの高効率化 • 家庭・事業所における省エネ機器、次世代自動車の導入促進 • 事業者への環境マネジメントの推進 • 再生可能エネルギー由来電力への切り替え • メタネーションの導入 • 次世代自動車の導入促進 • コージェネレーションシステムの導入 • 省エネ行動の徹底 • CO2 排出量の少ない移動手段の選択 • テレワーク、WEB 会議、サマールックキャンペーンなどの導入
基本目標 2 「持続可能な循環型都市」を実現する（資源循環）	<ul style="list-style-type: none"> • プラスチックの有効利用と資源循環 • サーキュラーエコノミーの推進 • ごみ量の削減 • 食品ロスの削減 • 衣類の楽しみ方の見直し（サステナブルファッション）
基本目標 3 「水とみどりがつながるまち」を実現する（自然環境）	<ul style="list-style-type: none"> • 身近な水とみどり、品川らしい水とみどりの創出（水とみどりの基本計画・行動計画より） • 生物多様性地域戦略の策定
基本目標 4 「すこやかで快適な暮らし」を実現する（生活環境）	<ul style="list-style-type: none"> • 外来生物を入れない・捨てない・広げない • 化学物質の適正管理に努める
基本目標 5 「やすらぎとにぎわいの都市景観」を形成する（文化環境）	<ul style="list-style-type: none"> • 継続
共通目標 「日常的に実践する人」を育てる（環境教育・環境コミュニケーション）	<ul style="list-style-type: none"> • 子どもと大人が一緒に行う環境学習 • 身近な活動の促進 • 持続可能な製品やサービスの利用

6 見直し作業スケジュール

8月～9月	目標・指標見直しのための各課ヒアリング、適応策検討、重点プロジェクト立案、骨子案作成
10月～11月	素案作成
12月～2月	パブリックコメント
～3月	最終版作成

施策体系（案）

※追加・変更箇所は赤字

基本目標等	施策の方向性	施策	
基本目標1 「脱炭素社会」を実現する (地球温暖化対策)	①地球温暖化を防ぐ計画を定め、実行する	計画の策定・進行管理・見直し	
	②エネルギーの使用を削減する	家庭における省エネルギーの推進 区施設における省エネルギーの推進	事業所における省エネルギーの推進
	③エネルギーの脱炭素化を図る	家庭への脱炭素エネルギーの導入促進 (修正前) 家庭への低炭素エネルギーの導入促進	事業所への脱炭素エネルギーの導入促進 (修正前) 事業所への低炭素エネルギーの導入促進
	(修正前) ③エネルギーの低炭素化を図る	区施設への脱炭素エネルギーの導入促進 (修正前) 区施設への低炭素エネルギーの導入促進	
	④気候変動に適応する取り組みを推進する	暑さ対策	
	⑤地球温暖化対策に関する情報を共有する	情報の収集・発信の充実	
	⑥建物の脱炭素化	区内建物へのZEB、ZEH、ZEH-Mの促進、断熱化 区有施設への太陽光パネル設置、ZEB化促進	メタネーション、コージェネレーションシステムの導入 PPA（電力販売契約）などの検討
	⑦移動手手段の脱炭素化	EV促進、充電インフラ、非ガソリン化、水素燃料車	
	⑧日常生活における脱炭素化	プラスチック代替製品の拡充	食品ロス対策
	(修正前) 「低炭素な暮らし・仕事・まち」を実現する	⑨他自治体との連携	地域循環共生圏（ローカルSDGs）
基本目標2 「持続可能な循環型都市」を実現する (資源循環)	①ごみの発生抑制を推進する	家庭ごみの発生抑制 再使用の推進	事業系ごみの発生抑制 食品ロスの削減
	②資源サイクルを推進する	区民の自主的な活動の支援 事業系リサイクルの推進	区の資源回収事業の推進 サステナブルファッションの啓発
	③情報提供と区民参加を推進する	子どもを対象とした環境教育 環境情報の積極的な発信 サーキュラーエコノミーの推進	区民・事業者を対象とした環境教育 区民参加の推進
	④適正処理を推進する	家庭ごみの適正な排出の推進 地域における適正排出の推進	事業系ごみの適正な排出の推進 効率的で環境負荷の少ない収集体制
	⑤プラスチック対策の推進	プラスチックの有効利用と資源循環	
	基本目標3 「水とみどりがつなぐまち」を実現する (自然環境)	①水とみどりを守り育てる	水とみどりの骨格形成 河川・運河の水質改善 自然環境を意識した施設の設置・管理
②水とみどりが身近にある豊かな暮らしをつくる		区内の水とみどりのネットワークの充実 水辺空間の整備・活用 魅力ある公園づくり	地域緑化の推進 小スペースを活かしたみどりづくり
③品川らしい水とみどりを創出しまちづくりに活かす		歴史・文化を伝える資源の保全・活用	特色ある公園づくり
(修正前) ③品川らしい水とみどりを継承しまちづくりに活かす		水とみどりを活かしたにぎわいづくり	
④みんなで水とみどりを育む		普及啓発活動の推進 水とみどりの人材の育成	水とみどりの活動表彰 区民との協働
基本目標4 「すこやかで快適な暮らし」を実現する (生活環境)		①すこやかな暮らしを守る	大気、水質、土壌等の保全および騒音・振動等への対応 外来生物を入れない・捨てない・広げない
	②建物の環境配慮を推進する	建築物の建設、解体に関する環境指導の実施	
	③人にやさしい地域づくりを目指す	ユニバーサルデザインのまちづくりの推進 安全な歩行者・自転車の空間整備	利便性の高い公共交通網の整備
基本目標5 「やすらぎとにぎわいの都市景観」を形成する (文化環境)	①歴史や文化を大切にし、魅力ある街並みをつくる	多様な品川らしさを踏まえたまちづくりへの活用 生活に密着した住宅景観の保全と誘導 新たなまちの景観の整備と誘導	歴史あるまちの景観の再生と活用 活力に満ちたにぎわいや調和の取れた景観の創出
共通目標 「日常的に実践する人」を育てる (環境教育・環境コミュニケーション)	①環境情報を発信する	環境に関する情報の整理と効果的な発信	持続可能な製品やサービスの発信
	②環境学習・体験を推進する	子どもと大人が一緒に行う環境学習	区役所職員の環境学習・行動の推進
	③協働により環境活動を推進する	環境活動・環境教育を行う団体・事業所や人材との協働 環境に配慮した事業活動の支援	他地域での環境活動の促進 環境活動団体の拡充
	④脱炭素に向けた実践の促進	身近な活動の支援	持続可能な製品やサービスの利用